

6月は環境月間です

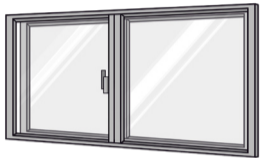
令和元年 10月の台風 19号や2年7月豪雨、3年7月に土石流を起こした大雨など、近年地球温暖化の進行により異常気象が多発し、私たちの生活にその影響が迫ってきています。専門家の中には、「気候変動」ではなく、「気候危機」になってきているという方もいます。私たちができることとして、これまでの省エネの取り組みだけでなく、下記のような「緩和策」と「適応策」の複合的な対応を意識することが必要です。環境啓発施設むさしのエコreゾーンでは、こうした気候危機の状況や対応について市民の皆さんに紹介する「環境展」を開催します▶問：環境政策課環境啓発施設係 ☎ 60-1945

家庭や職場で私たちができること

緩和策

気候変動・地球温暖化を引き起こす、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を削減したり、吸収を増やす対策です。

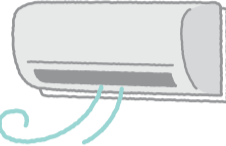
省エネ



断熱窓の設置など家屋の断熱性を高める

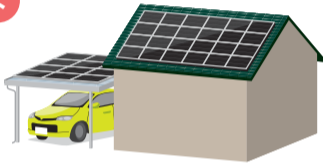


冷蔵庫やエアコン、照明LED化や給湯機器などの新品買い替えによる省エネ化



エアコンの適温の設定や不要な機器のコンセントを抜くなどの省エネ活動

創エネ



太陽光発電パネルの設置や家庭用燃料電池などによってエネルギーをつくる

CO₂吸収



地域に緑を増やして二酸化炭素の吸収を増やす

適応策

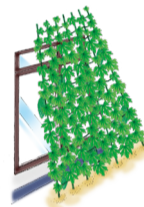
気候変動・地球温暖化の悪影響への対応を図ることで。



適度な冷房で、気候に合わせて快適に過ごせる服装や取り組みを促すクールビズ



外出時の日傘やクールタオル(濡らすと冷たさがキープできるタオル)を活用する



ゴーヤなど緑のカーテンを育て建物の中を遮光する



雨水タンクや浸透ますなどで激しい雨でも下水の急な増水を防ぐ

これらの取り組みを、いくつも組み合わせることで実施していくことが、地球温暖化を少しでも抑え、暑い時期でも快適に過ごすことにつながります。また、取り組みの中には、市の助成制度を活用できるものもあります。助成の対象や時期など、詳細は市HPをご覧ください。



環境展

6/1(水) ~ 30(木)

場所 むさしのエコreゾーン



むさしのエコreゾーン

開館時間：午前9時30分～午後5時

休館日：火曜、祝日(月曜が祝日の場合は月曜開館し、水曜休館)、年末年始

所在地：〒180-0012 緑町3-1-5

問：環境政策課環境啓発施設係(むさしのエコreゾーン内) ☎ 60-1945、FAX51-5590、ecoresort@city.musashino.lg.jp



緑のカーテンレポート

気候危機への適応策としての緑のカーテンを市内で育成するレポーターを募集し、レポーターにはゴーヤ苗を配付します。ゴーヤ苗の育成状況や、緑のカーテンがあることでの体感温度の違いなどをレポートしてもらい、その状況をむさしのエコreゾーンや同館HPで紹介していきます。



気候危機や脱炭素チャレンジのクイズを実施



クイズの正解者にはノベルティを進呈します(なくなり次第終了)。

普段の暮らしから考えるSDGs展示



“暮らしの中のエネルギー”をテーマにすることで、エネルギーの使い方などと気候危機の関連を考える展示。

※令和3年度の環境の学校などの修了生が展示の準備に参画

「こどもエコクラブ」の参加者を募集します

子どもたちの自主的な環境活動を支援する、「こどもエコクラブ」の参加者を募集。ゴーヤ苗の育成状況のレポートなど、継続的な環境活動をサポートします。

▶対象：3～18歳 ▶申込・問：登録用紙をファクスまたは同団体HPからこどもエコクラブ全国事務局 ☎03-5829-6359、FAX03-5829-6190へ。



むさしのエコ・チャレンジで活動紹介をすることもエコクラブの皆さん

